

拠出金名: 経済協力開発機構・開発関連拠出金

国際機関等名	経済協力開発機構・開発援助委員会 (英文名称・略称) Organisation for Economic Co-operation and Development / Development Assistance Committee (OECD / DAC)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局開発協力企画室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	15,368	107		1ユーロ = 143円	100
平成20年度	17,625	107		1ユーロ = 164円	100
平成19年度	16,287	111		1ユーロ = 147円	100
当該拠出金の目的・用途等	DACの活動に我が国の拠出金を用いることにより、DACの議論に我が国として方向性を与え、我が国が国際的な援助コミュニティでイニシアティブを発揮し、その理念や具体的な援助のアプローチを主流化していくためのもの。具体的には、援助効果作業部会、紛争と脆弱国家ネットワーク等DAC下部機構の活動、あるいは平和構築と国家建設に関する国際対話などの活動等のために使用。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009-2010年のもの)				国際機関等の財政 (2007-2008年度決算)(千ユーロ)	
	国 名	金額 (千ユーロ)	拠出率(注) (%)		
1位	スウェーデン	1,891	11.1	当該年度の収入 13,274	
2位	ベルギー	1,565	9.2	当該年度の支出 8,131	
3位	アイルランド	1,500	8.8	次年度への繰越 5,143	
4位	オランダ	1,175	6.9	会計検査機関名	
5位	スペイン	1,166	6.9	内部監査: OECD事務局内部監査担当部署 外部監査: Deloitte et Associates その他: 会計監査委員会(仏等により構成)	
日本の順位は20位、拠出率は1.3%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
OECD開発援助委員会(DAC)は援助政策を議論するフォーラムであり、援助に関する国際的な潮流の形成に大きな影響力を有する。DACは、ODAの定義を始めとする援助に関する国際規範等の策定、ODA量の集計等を行っており、国際社会の援助に関する議論について、DACがアジェンダ設定に果たす役割は大きい。DACでの議論により国際的な援助潮流が形成されていくことにかんがみれば、我が国の援助に関する考え方をDACの中で主張していく必要がある。これまでに、DACにおける我が国の主張は、国際的な援助規範として認知されているパリ宣言等の策定に際して反映されてきている。我が国の主張がDACにおいて取り上げられ、議論されるようにDACに対して拠出を行うことは、我が国の理念やアプローチを主流化していく観点から重要である。なお、DACは、2008-2009年に今後の活動の方向性に関する「リフレクション作業」を実施し、勧告を含む最終報告がまとめられ、同勧告の一部は既に実施されている。					
邦人職員数 うち幹部以上	4 人 うち 0 人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	120 人 3.3%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
現時点では具体的な計画は特にない					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。